様式例９（設立時）

医療法人社団○○会設立総会議事録（例）

１　日　　　時　　令和○○年○○月○○日○○時○○分～○○時○○分

２　場　　　所　　○○県○○郡（市）○○町（村）○○番地　○○○○○　に於いて

３　出席者（設立者）住所・氏名

　　　　　　○○県○○郡（市）○○町（村）○○番地　　○○　○○

　　　　　　○○県○○郡（市）○○町（村）○○番地　　○○　○○

　　　　　　○○県○○郡（市）○○町（村）○○番地　　○○　○○

　　　　　　　　　　　　　　　：

　　　　　　　　　　　　　　　：

　　　　　　○○県○○郡（市）○○町（村）○○番地　　○○　○○

４　議　　事

医療法人社団○○会を設立するため、上記のとおり設立者全員が出席した。議長を選出すべく全員で互選したところ、○○　○○　が選ばれ、本人はこれを承諾し議長席につき○○時○○分開会を宣し、議事に入った。

第１号議案　医療法人設立趣旨承認の件

　　設立者　○○　○○　は発言し、本法人設立の趣旨を別紙「医療法人○○会設立趣意書」案のとおりに述べた。

　　議長は、本趣旨の承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第２号議案　社員確認の件

　　議長は発言し、本法人が千葉市長の認可を受けて設立されたときは、本設立総会に出席した設立者全員が本法人の社員となることを述べたところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第３号議案　定款承認の件

　　議長は本法人の定款案を朗読し、全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第４号議案　拠出申込み及び設立時の財産目録承認の件

　　議長は発言し、本法人設立の資産とするため、拠出を受けたい旨を述べたところ、設立者のうちから次のとおり拠出したい旨の申込みがあった。

　　（氏　　　名）　　現金　　　　　　　（拠出金額）　　　　　　　　　　円

　　（氏　　　名）　　預金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　（氏　　　名）　　預金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　医業未収金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　医薬品、診療材料　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　建物　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　医療用器械備品　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　その他の器械備品　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　電話加入権　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　合　　　　　計　　　　　　　　　　　　　　　円

　　また、設立者○○　○○　は発言し、当該拠出金に関し、次のように述べた。

拠出金は医療法人社団○○会設立認可後○○年間が経過した後に、拠出者に返還するものであり、金銭以外の資産にかかる拠出金の返還については、拠出時における当該資産の価額をもって返還すること。

医療法人が解散した場合には、他の債務の弁済後でなければ拠出金を返還することができないこと。

拠出金は利子を付して返還しないこと。

　　また、拠出申込者△△　△△　は発言し、建物の建設資金及び医療用器械備品の購入資金として□□銀行から現在○○，○○○，○○○円の借入残金があるが、建物及び医療用器械備品を拠出するに際し、この残金の返済を債権者の承認を得て設立する法人に引き継ぎたいと述べた。

　　また、医薬品や診療材料の購入により、○○薬品株式会社からの買掛金○，○○○，○○○円があるが、この医薬品や診療材料を拠出するに際し、債権者の承認を得て設立する法人に引き継ぎたいと述べた。

議長は、前述の拠出金及び債務引継ぎの件について全員に発表したところ、一同これを確認し、設立時の負債金額を金○○，○○○，○○○円とすることを承認した。

　　議長は発言し、この結果本法人設立時の純資産額は、金○○，○○○，○○○円とし、その財産目録は別紙のようになると示したところ、一同これを承認し、本案は可決された。

第５号議案　○○年度及び○○年度の事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認の件

　　議長は発言し、○○年度及び○○年度の事業計画案並びにこれに伴う予算案を一同に示すとともに詳細に説明をなし、承認を求めたところ、全員異議なく承認し、本案は可決された。

第６号議案　役員及び管理者の選任の件

　　議長は発言し、第３号議案で可決された定款に規定されるところに従い、本法人の役員及び管理者を選任したい旨を述べ、設立者間で協議したところ次のように選任された。

　　　理　　　事　　○○　○○　　（○○診療所管理者）

　　　　　同　　　　○○　○○

　　　　　同　　　　○○　○○

　　　　　：

　　　　　：

　　　監　　　事　　○○　○○

　　選任された者は、各自この就任を承諾した。

　　ついで議長は、理事長を選任したい旨を述べ、理事に決定した者の内から、次のように選任された。

　　　理　事　長　　○○　○○

　　選任された者は、この就任を承諾した。

第７号議案　設立代表者の選任の件

　　議長は発言し、医療法人の設立は、原則として設立者全員の連署で千葉市長に申請することとなっているが、ここで設立代表者を１名選任し、設立に関する一切の権限を委任したい旨を述べたところ、一同これに賛成したので、設立代表者を互選し、次の者が選任された。

　　　設立代表者　　○○　○○

　　選任された者は、これを承諾した。

第８号議案　本法人の開設する○○診療所（○○病院）の土地（建物）を賃借する契約の承認の件

　　議長は発言し、本法人の開設する○○診療所（○○病院）の土地は、賃借する予定なので、本法人を設立するに際し、現在の契約を継続し賃借人の名義を変更する必要があることを述べ、覚書を示し、これの承認を求めたところ、全員異議なく承認し、本案は可決された。

　　以上をもって、医療法人社団○○会の設立に関するすべての議事を終了したので議長は閉会を宣した。

　　本日の決議を確認するため、設立者全員が記名押印する。

　　　　設　立　者　　○○　○○　　印

　　　　　　同　　　　○○　○○　　印

　　　　　　同　　　　○○　○○　　印

　　　　　　：

　　　　　　同　　　　○○　○○　　印

（作成上の注意）

１．本議事録は参考例であり、これに準じて議事の経過の概要及び結果を明確に記載すること。

　２．役員は理事３人以上、監事１人以上とし、理事のうち１名以上は、理事長と親族関係にない第三者理事を選出すること。

３．理事の中には原則として法人の開設する医療施設の管理者を入れること。

医療法人社団○○会設立趣意書

〈記入例〉

本診療所は、○○年○○月○○日に開設して以来○○年の間、地域医療に貢献してきた。（発展経過）

　　　　　　　：

　　　　　　　：

近年患者数が増大し、現在は１日平均○○名の外来があり、今後も永続的に診療所を運営していく必要性を痛感する。（設立動機）

　　　　　　　：

　　　　　　　：

そのためには、家計と経営を分離し近代的経営を行い、診療所の安定を図らなければならない。（設立意図）

　　　　　　　：

　　　　　　　：

医療法人化により、医療設備を充実させ、また職員の研修教育を行い、従前にもまして地域医療に貢献していきたい。（事業内容）

〈医療法人の名称の由来〉

例．医療法人の設立者の名前から１字ずつ取り「○○会」としました。

令和　　年　　月　　日

*（注）設立総会(理事会)開催年月日とすること。*

医療法人社団○○会

設立代表者　　○○　○○　　印

（作成上の注意）

病院、診療所又は介護老人保健施設の開設からの発展経過、法人の設立意図、事業内容等を具体的かつ簡明に記載すること。

様式例９（定款変更時）

医療法人社団○○会定時（臨時）社員総会議事録（例）

１　日　　　時　　令和○○年○○月○○日○○時○○分～○○時○○分

２　場　　　所　　○○県千葉市○○区○○町○○番地　○○クリニック　事務室　に於いて

３　出　席　者　　○○　○○、○○　○○、○○　○○、○○　○○、・・・・・

　　　　　　　　　（本社団社員総数○名のうち、○名出席○名委任状提出）

本社団定款第○○条により理事長　○○　○○　が議長となり、定款第○○条に規定する定款変更に必要な定足数に達したことを確認したのち、○○時○○分開会を宣し、議事に入った。

第１号議案　新診療所開設の件

　　理事　○○　○○　は発言し、大要を次のように述べた。

　　「本社団の事業も順調に発展している。そこで、新たに、○○県○○郡（市）○○町（村）○○番地に、土地○○㎡を購入し、鉄筋コンクリート○階建延○○○㎡○○○床の診療所を建築したい。その資金計画は次のとおりである。

　　　　　　　　　　　現　　　　　金　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　○○銀行の融資　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　本社団の内部留保金　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　合　　　　　計　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　土　地　代　金　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　建　　築　　費　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　機械設備・備品類　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　運　転　資　金　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　そ　　の　　他　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　　合　　　　　計　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

新診療所の建築予定地は、最近、再開発の進展など周辺の環境の変化がめざましく、人口が急増し、医療の確保の必要性が高い。この建設規模であれば、今後の診療所経営も安定的に行われるものと見込まれる。」

　　以上のように述べるとともに、さらに詳細な説明を行い質問に答えた。

　　議長は本案の承認を求めたところ一同異議なく承認された。

第２号議案　定款の一部変更承認の件

　　理事　○○　○○　は、前号議案の承認に従い新設診療所の名称及び所在地を定款第○○条に加える件並びに診療所の開設により、理事機構を強化するため、理事の定員を「○～○」名から「△～△」名に改める件、また、新診療所の管理者を理事とするため、第○○条を変更することを説明し、議長はその案を一同に諮ったところ、異議なく承認された。

第３号議案　社員入社承認及び理事１名選任の件

　　理事　○○　○○　は、理事の定員増員が承認されたので、新理事を選任する必要があり、○○　○○　を推薦したいと述べた。同氏は本社団の社員でないため、定款第○○条に規定するところにより、入社することについて社員の同意を要するので、議長は一同に諮ったところ異議なく承認され、ついで理事とすることも全員の承認を得た。

第４号議案　銀行融資申込に伴う、借入金の最高限度額及び抵当権設定の承認の件

　　理事　○○　○○　は発言し、新診療所開設資金を○○銀行○○支店から融資を受けるについて、借入金の最高限度額を次のように提案した。

　　　○億○，○○○万円

　　ついで、同銀行に担保として現病院の土地、建物に抵当権を設定することに次のように提案した。

　　　土　　　地　　現診療所の敷地　　○○○㎡

　　　建　　　物　　現診療所の建物　　鉄筋コンクリート○階建延○○○㎡

　　議長はこれを一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

第５号議案　新診療所の管理者選任の件

　　理事　○○　○○　は発言し、新たに開設する診療所の管理者に、○○　○○　氏を選任したい旨を述べた。

　　議長はこれを一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

第６号議案　本社団の事業計画及び予算の変更設定の件

　　理事　○○　○○　は発言し、新診療所開設計画に伴い、初年度及び次年度の事業計画及びこれに伴う予算を別紙のように設定したいと述べ、計画案、予算案を一同に配布した。

　　議長はこれを一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

以上をもって、本日の議事を終了したので議長は閉会を宣した。（○○時○○分）

　　本日の決議を確認するため出席者全員が署名捺印する。

令和○○年○月○日

社　　員（理 事 長）　　○○　○○　　印

　　　　 　〃 　（理　　事）　　○○　○○　　印

　　　　 　〃 　（　 〃 　）　　○○　○○　　印

　　　　 　〃 　（　 〃 　）　　○○　○○　　印

　　　　 　〃 　（　 〃 　）　　○○　○○　　印

　　　　 　〃 　（　 〃 　）　　○○　○○　　印

　　　　　 〃　　　　　　　　　 ○○　○○　　印

　　　　　 〃　　　　　　　　　 ○○　○○　　印

（作成上の注意）

本議事録は参考例であり、これに準じて議事の経過の概要及び結果を明確に記載すること。

様式例９（解散時）

医療法人社団健康会臨時社員総会議事録

１　日時　　　令和○○年○月○日　午後1時～午後２時

２　場所　　　千葉県千葉市中央区千葉港１番1号　医療法人社団　健康会○○医院

　　　　　　　2階事務室において

３　出席者　　○○　○○、○○　○○、○○　○○、○○　○○、・・・・・

　　　　　　　　　（本社団社員総数○名のうち、○名出席○名委任状提出）

本社団定款第○○条により理事長　○○　○○　が議長となり、定款第○○条に規定する定款変更に必要な定足数に達したことを確認したのち、○○時○○分開会を宣し、議事に入った。

第1号議案　本医療法人社団の解散の件

　議長は、診療所の管理者かつ理事長として医療業務を行ってきたが、健康上の理由によりこの業務を継続することが困難であり、また、後を引き継ぐ後継者もいない事由を述べて、本法人社団を解散したい旨申し出、その承認を求めたところ、一同やむを得ないこととして、異議なくこれを承認可決した。

　　第２号議案　清算人選任の件

　議長は、当医療法人社団を解散するについて千葉市長の認可が必要であるが、その認可を受けるにあたり解散事務を行う清算人を1名選任しておく必要がある旨を述べ、その選任方法について諮ったところ、全員の互選によることとなり、互選の結果、理事である次の者が選任された。

　　　　　　　清算人　千葉花子

　なお、議長は、隣室に控えていた被選任者千葉花子を議場に招きいれ、清算人に選任された旨を告げたところ、被選任者千葉花子はその場で直ちにその就任を承諾した。

第３号議案　残余財産の処分方法に関する件

　議長は、解散に伴う残余財産の処分について、本医療法人社団定款第32条の規定に基づき、払込済出資額に応じて分配したい旨をのべ承認を求めたところ、全員異議なくこれを承認した。

　なお、これに伴い出資額の確認を行う必要がある旨を述べ、その出資額は下記のとおりであることを告げたところ、一同これに相違ないことを確認した。

　　　　社員　　千葉太郎　　　　　　　　10,000,000円

　　　　社員　　千葉一郎　　　　　　　　 1,000,000円

|  |
| --- |
| 　　　　計　　　　　　　　　　　 11,000,000円 |

　以上をもって医療法人社団健康会の解散に関するすべての議事を終了したので、

議長は閉会を宣した。

　本日の議決を確認するためこの議事録を作成し、出席者全員これに署名押印する。

　令和○○年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　社　員　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　社　員　　　　　　　自　　　署　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　社　員　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

（作成上の注意）

本議事録は参考例であり、これに準じて議事の経過の概要及び結果を明確に記載すること。